

評価報告概要表

■第三者評価機関

名称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成26年2月27日（木）

■福祉サービス事業者情報

名称	なかべ学院	種別	児童養護施設
代表者氏名	院長 咲賀信幸	開設年月日	昭和21年8月20日
設置者	社会福祉法人 中部少年学院	定員(利用人数)	80人(63人)
所在地	〒750-0081 下関市彦島角倉町3丁目6番17号		
電話番号	083-266-1934	FAX番号	083-266-8384
ホームページアドレス			

■総評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

子どもと職員が1日を楽しく過ごせたかどうか、どのように関わったのか、職員一人ひとりが「すまいるチェック」に照らし合わせながら確認していることが、職員の援助に対する姿勢を向上させています。また、「安全委員会方式」を取り入れ、暴力対応マニュアルを作成し職員に周知するとともに、児童相談所等関係機関と協働で、施設内暴力を無くす運動に取り組み成果を上げています。

職員が、学習環境の整備を行い、静かに落ち着いて学習できる環境を提供しています。発達年齢に応じた学習課題を準備し、基礎学力の回復や、学習支援、進学支援、進路選択に積極的に取り組み成果を上げています。

法人主催のさつき祭、盆おどり、運動会、クリスマス会の4大行事に、地域の方々を招いて子ども達と地域との交流が活発に行われています。

◇改善を求められる点

子ども等からの、苦情や意見、提案を受けた後の手順や施設内組織の改善すべき課題の対応方法、記録の方法、子どもへの経過と結果のフィードバックの仕方、公表の方法等を具体的に項目ごとに記録を残していくことが、援助技術の質の向上にむかう姿勢となります。この姿勢を具現化した対応マニュアルを策定することが必要であると思われます。また、定期的にその対応マニュアルを見直すことが、さらに養育・支援や施設の運営改善に繋がると考えられます。

年度ごとの事業計画は策定されていますが、中・長期計画の策定が望まれます。あわせて、子どもや保護者等に関する記録の管理規程の策定が必要であると思われます。

また、積極的にボランティアの受け入れをされていますが、登録手続きや事前説明の手順とともに、受付簿の設置等の検討を期待します。

※「すまいるチェック表」:子どもが1日を楽しく過ごせたかどうか、楽しく過ごすために職員がどのように関わったかを確認するためのチェック表で、10項目あり、毎日チェックを行っている。

※「安全委員会方式」:社会的養護施設において、暴力や虐待問題を解決するための取組で、外部に委嘱された委員と職員から選任された委員とで「安全委員会」というものを作り、暴力や虐待の問題に対応しており、定期的に行う会議には必ず児童相談所や学校関係者の参加を求めている。また、会議の他に定期的な聞き取り調査も行っている。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

初受審の自己評価は全職員で行い、「評価の着眼点」に照らし合わせると「あれもこれも出来ていない。オールCでもしかたがないが、次回までには・・・」の思いで、課題をたくさん見つけながら臨みました。

経験則で行っていることも文書化・マニュアル化をして定期的な見直しをすること。また、中長期計画や記録の管理規定策定等々、たくさんのご指摘をありがとうございました。

子ども達の幸せを信じて、子ども達に寄り添えるように、職員と力を合わせて改善に取り組みたいと思います。